

2024 年度若手研究発表会開催報告

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 2024 年度若手研究発表会 開催報告

学会活性化委員会 委員長 植田 譲（東京理科大学）

一般社団法人日本太陽エネルギー学会（JSES）では、第5回目となる若手研究発表会を7月31日（水）14：30～17：00にオンライン開催した。

本研究発表会は

1. 研究の完成度にこだわらず若手研究者に発表の機会を積極的に提供する。
 2. 今後の研究を進める上で参考になる有益なディスカッションの場を提供する。
 3. シニア研究者との活発な意見交換を通して若手研究者の成長につなげる。
 4. JSES 非会員であっても発表を歓迎し、定例の秋の研究発表会での発表のきっかけとしてももらう。
- ことを目的として、JSES 理事・フェロー7名も参加して開催した。

当日は、発表者（学生）6名、聴講者16名 計22名の参加のもと、活発な意見交換が行われた。

1件あたり発表8分、質疑12分の時間配分として質疑重視の内容で実施した。昨年同様に発表のテクニックや発表資料に関するアドバイスは、Web上のアドバイスシートに記入してもらい、後日集計

して発表者に連絡した。昨年よりも発表件数は減ったが、活発な意見交換が行われ時間が押す場面もしばしばあった。

発表者には質疑における指摘事項が今後の研究の参考になったのではないかなどと思える。指摘された点も考慮し、更に研究を深化させて秋の研究発表会での発表にのぞんで欲しい。

奨励賞の選考にあたっては、奨励賞選考委員会において6名の委員が、「研究の完成度」のみならず、「着想の斬新さ／アプローチの独創性／今後の発展性／学術的価値／産業上の有用性／プレゼン資料の見やすさ／発表の構成／発表の分かり易さ／研究におけるビジョン・方向性の明確さ／質疑応答の適切さ／優れた特長等」などの多面的な評価を行い2024年度若手研究発表会奨励賞として、以下の1名を表彰した。

・ 標題「スパッタ法で作製した多結晶 BaSi₂ 膜への B イオン注入による伝導型制御および太陽電池作製」

佐藤 匠（筑波大学大学院）

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 若手研究発表会 2024 年 7 月 31 日オンライン開催			
	発表タイトル	所属	発表者
1	★スパッタ法で作製した多結晶 BaSi ₂ 膜への B イオン注入による伝導型制御および太陽電池作製	筑波大学大学院	佐藤 匠
2	PV 大量導入時における送電線の停電作業計画のための過酷条件の検討	早稲田大学先進理工研究科	鈴木雅之
3	PV 大量導入時の電力系統における多目的運用最適化に関する一考察	早稲田大学大学院 先進理工研究科	秋山 航
4	電気自動車双方向自宅充電器を含めた住宅街の自家消費技術選択最適化	東京農工大学大学院	東谷拓弥
5	再生可能エネルギーの有効活用に向けた蓄熱発電の環境性・経済性の評価	東京農工大学大学院	入倉優香
6	太陽光発電の出力制御による需給調整力提供効果の評価	東京農工大学大学院	柏 翔真

★：若手研究発表会奨励賞受賞